

【事業名称】

中国国際友好会議および中国人民対外友好協会設立 60 周年記念行事に（公社）日中友好協会代表団が出席

【開催日時】

2014 年 5 月 15 日～16 日

【開催場所】

中国北京市・人民大会堂

【主催者・共催者等】

中国人民対外友好協会

【事業内容】

「中国国際友好会議および中国人民対外友好協会設立 60 周年記念行事」が 5 月 15 日午後、北京の人民大会堂で開かれ、村岡久平理事長、西堀正司・小野寺喜一郎両常務理事の（公社）日中友好協会代表団が招かれ出席した。当日は習近平・中国国家主席が重要演説を行い、「人民の友好は世界平和の発展を促進する基礎的な力である」と述べ、出席した世界各国の友好人士に対し世界平和に向けた団結と協力を呼びかけた。



重要演説を行う習近平国家主席

記念行事には習主席をはじめ王毅外相、蔡武文化相、唐家璇・中日友好協会会長や、鳩山由紀夫元首相、江田五月（公財）日中友好会館会長、全国各地の人民対外友好協会の代表者および世界各国の友好人士ら約 800 人が出席した。翌 16 日には、中国中央テレビによる特別イベント「難忘 60 年」が催され、各国来賓が祝辞を述べたほか、日本の松山バレエ団が 60 周年を祝う舞台を披露した。

習近平主席の重要演説（要旨）

人民の友好は世界平和の発展を促進し、協力・ウィンウィンを実現させる基礎的な力である。各国人民は友好交流を強化し、手を携えて協力し、複雑で変化の多い国際問題や困難を乗り越えなければならない。中国は全面的な対外開放を継続し、各国との互惠協力を進める。各国の発展のチャンスと共に築き、共有する。そして国内外での文化交流に全力

を挙げ、人類の進歩に貢献する。 中華民族はずっと平和を愛する民族で、平和、親睦、調和の固い理念を追求している。他国を侵略し、覇権を求める遺伝子は無く、「強国になると必ず覇権的になる」というロジックを受け入れない。各国人民と仲良くし共に平和を享受し発展することを望んでいる。

中国は平和発展の道を堅持して歩み、同時に各国による平和発展の堅持を共に推進する。それには互いを手本とする文明的な交流を全力で強化する必要があり、その原動力となるのが民間外交である。われわれは国境、時空、文明を乗り越え、互いを手本とする交流を通じて各国人民の相互理解、相互支持、相互支援を推進し、心の中の平和理念が揺るがないほどの戦争を防ぐ強大な力を作り上げねばならない。

中国人民対外友好協会は、中国が長く実行してきた自主的な平和外交政策を徹底して実践し、国際社会で各国の友人と幅広く深く交流し、代え難い役割を果たしてきた。

60年の発展の軌跡は民間レベルの友好が持つ強大なエネルギーと、中国での民間外交の重要な地位を十分に立証している。今後も絶えず努め、民間・都市・公共外交を適切に進め、中国の民間対外友好活動に大きく貢献することを望んでいる。

民間外交は開拓、革新を図り、多くの分野、ルート、レベルで対外友好交流を進め、外国の機関と優秀な人材を多く誘致する必要がある。中国と各国人民の距離を縮めることが求められている。

夢があり、それを追求し奮闘すれば全てが可能になる。中国人民にも、世界各国の人民にも、両方に夢があることは世界に無限のチャンスと輝かしい未来をもたらす。われわれは団結し、夢に向かい奮闘し、人類の平和と発展という崇高な事業を共に推進してゆこう。

■協会代表団、中日友協、全青連と実務協議

対外友協設立60周年行事に出席するために北京を訪れていた村岡理事長ら協会代表団は5月15日午前、中日友好協会および中華全国青年連合会（全青連）の幹部とそれぞれ実務協議を行った。中日友好協会の王秀雲副会長、関立形秘書長らとの協議では、9月に大阪で共催して開く第14回日中友好交流会議について話し合った。王副会長は、開催要項が決まりしだい、「中国全国の関係機関に一斉に告知し、参加を促す」と話した。一方、全青連では万学軍主席補佐と話し合い、協会が計画している「日本青年3千人訪中団」30周年事業に対する協力を改めて呼びかけた。